

# そらうがく

(No. 56)

29. 7. 13 発行

現職研修委員会

総合的な学習部編集



## 次期学習指導要領の告示等を受けて

総合的な学習部長

市川 敏彦

平成二十九年三月三十一日付の官報にて、次期学習指導要領が告示され、それに伴い、五月二十六日に移行措置の内容が公表された。これらによると、今年度は周知徹底、来年度からは先行実施が可能となる。

次期学習指導要領のねらいは、①探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し探究的な学習のよさを理解するようにする。②実社会や実生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめ・表現することができるようにする。③探究的な学習に主体的・協同的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

これに県や市、三教研の研究テーマを受け、総合的な学習部の研究主題や研究の重点目標を決め、実践を重ねている。各小中学校の主任は、「部報部会」「ホームページ部会」「実践事例部会」「研修部会」のいずれかの部会に属し、本市の総合的な学習の授業や活動を牽引している。

本校においても、総合的な学習部の主任や研究主任が先頭に立って実践を重ねている。例えば、どの学年も生活科や総合的な学習の時間を中心にしたESDカ

レンダーを作る。縦軸に教科と領域名、横軸に四月から一年間の月で区切られていて、各教科と領域名は単元や題材が学習順に並ぶ。中心の生活科や総合的な学習の時間欄には、全学年ごとに一年をかけて探究する野鳥についての活動内容と、地域の人・もの・ことについて探究する学年はその時期と活動内容が書かれている。また、各教科・領域で関連する単元や題材には、自然・郷土・環境の三種類で色分けされて横断的に進めていることが分かるようにしている。

ツバメが体育館の軒下に巣をかけ、卵を温め始める季節の五月、「第三十六回野鳥を知ろう集会」を、岡崎野鳥の会の新会長を講師に招いて行った。この会では、毎年子供たちが、個人や学年で探究するマスコットバードについて今まで調べてきたこと、さらに調べたいことなどを発表している。今年も探究する目標が決まり、子供の思考に沿った実践を展開中である。そして、その成果は三学期の「ふるさとタイムまとめ発表会」で学区民や保護者を前に発表する。

知・徳・体にわたる「生きる力」を子供たちに育むため「主体的・対話的で深い学び」ができるよう、よりよい実践を積み重ねていきたいものである。

それぞれの小中学校が、その地域の特色や人・もの・ことを生かした活動を工夫し、子供も教師も楽しく探究的な学習が行われていくことを期待したい。

## 本年度の研究方針

生活・総合指導員 小豆坂小学校 高沢 秀昭

### ■研究主題

『自ら探究し、協同的に学び合う総合的な学習の授業』

### ■研究の重点

- ・子供たちが、学びの中で感動を得られる授業展開を工夫する。
- ・体験や問題解決的な活動を繰り返す探究的な学習を展開する。
- ・協同的な学びが実現できるよう、多様な学習集団や学習形態を工夫する。
- ・地域との連携を図り、地域の「人・もの・こと」を積極的に活用する。
- ・子供たちが、自分のよさや成長を自覚し、さらに伸ばしていけるような評価規準の設定や評価方法を工夫する。

### ■「生きる力を育む教育」の担い手は、総合！

次期学習指導要領への移行を見据え、今日的な課題や二十一世紀型能力の育成に対応する上で、生活・総合の学びは重要です。ねらいや育てたい力を明確にし、子供が自分事として取り組めるテーマを精選し、成就感が得られる学びを展開したいものです。それには、子供が主体的に取り組む学習課題づくり、子供の思考をつなぎ、深める単元構想がポイントとなります。地域の「人・もの・こと」に繰り返して関わる中で感動のある体験や出会いを味わい、地域への愛着をもつとともに、地域のために貢献したいという思いを膨らませたいものです。このような探究的で対話的な学びを展開しながら、「ふるさと岡崎の心の醸成」を力強く推進していきましょう。

# 夏の研修案内

## ★三教研夏季研修会

日時 平成二十九年八月一日(火)

場所 安城市文化センター

内容 講演

講師 甲南女子大学

人間科学部 村川 雅弘 様

演題 「新学習指導要領が求める授業と学校」

講演後、テーマ別の分科会において、山中小の小柳直希先生が実践発表されます。三河各地域の優秀な実践も報告されます。ぜひご参加ください。

## ★授業力アップセミナー ～基礎編～

日時 平成二十九年八月二日(水) 九時～十二時

場所 総合学習センター 小ホール

内容 ・実践発表 六ツ美中 小木曾 正章先生

「未来をよりよくするために、主体的に考え、探求することができると生徒の育成」

～二年『低炭素社会実現のために私たちができること』の実践を通して～

・学年別フリートーク

・名古屋大学 久野弘幸先生による講話

「新学習指導要領の読み解き方と総合的な学習」

・今年度は、次期学習指導要領改訂の柱の一つである「育成を目指す資質・能力」の捉え方が軸になっています。子供が目を輝かせて取り組む総合的な学習の実践の在り方や進むべき方向性を学ぶ研修を行います。また、学年別フリートークでは、各校の実践状況と、問題点などを話し合います。今後の実践に役立ててください。

## ★岡崎市教育研究大会

日時 平成二十九年九月五日(火) 十三時四十五分

場所 岡崎市民球場 第一会議室

先日、提出された中間報告では、各学校の特色を生かした熱意ある実践が期待される報告がありました。今年度も鳴門教育大学教授の西村公孝先生を助言者としてお迎えし、ご指導をいただきます。多数の方のレポート提出と積極的なご参加をお待ちしています。

# 研究・研修報告

生活・総合指導員 小豆坂小学校 高沢 秀昭

六月十七日(土)・十八日(日) 東京都新宿区・

渋谷区・豊島区で行われた第二十六回日本生活科・

総合的な学習教育学会に参加しました。

十七日午前は、各地区で公

開授業が行われ、十八日には、

立教大学で課題別研究発表と

全体会が行われました。課題

別研究発表では、豊富小学校

の林尚子先生が、「教師に求め

られる『カリキュラム・マネ

ジメント』をテーマに実践発

表をされました。生活科主

任・研究主任・指導員・教務

主任などの各立場で、次期学習指導要領で求められ

るカリキュラム・デザインにどのように取り組まれ

たかを、具体的な実践を通して、明確に示されまし

た。その中でも、生き物好きな子供の実態を生かし

て川の学習を構想した事例に心を動かされました。



子供は夢中になって繰り返し関わることを通して、

川や生き物への愛着をもっていきます。それとともに、

自己肯定感を育み、よりよい学級集団に成長した

様子が報告されました。対象とたつぷり関わる中

で個が育ち、学びを共有する中で集団が育つ。つま

り、学級経営に生かすことができるのが生活・総合

の学びの魅力であると実感できました。

最後に、「未来への希望と力を育む 生活科・総

合的な学習の『深い学び』と題し、田村学先生(国

学院大学)と奈須正裕先生(上智大学)によるシン

ポジウムが行われました。子供の一つの発言やつぶ

やき、その時の表情やしぐさを見とることで、学び

の深まりを読み取る必要であることを教えて

いただきました。

次期学習指導要領改訂の趣旨からも、これからま

すます総合的な学習の時間の果たす役割が大きくな

ることを再認識できた大会となりました。

# 岡崎総合的な学習研究会からのお知らせ

生活・総合指導員 小豆坂小学校 高沢 秀昭

★千万町水源林で山里体験！皮むき間伐体験のフイ

ールド研修

期日 平成二十九年七月二十九日(土) 午前十時～

午後三時頃(小雨決行・荒天中止)

会場 千万町楽校(ナビは「千万町小学校」で検索)

内容 ・皮むき間伐体験(チェンソーやノコギリを

使わない親子で参加できる木の皮むき)

・薪割り体験(間伐した杉や桧を斧で割る。)

・小学生以上のお子様も同伴可能。参加ご希望の方は、新香山中・内田裕斗先生まで。